

戸籍のまど (6月届出分)

★お誕生おめでとう

坂本 春陽^{はるひ}(秀秋) 砂子又奥島 奏^{かな}翔^と(一典) 目名畑中 璃^り玖^く(龍太郎) 小田野沢

★ご結婚おめでとう

(石田 航貴(猿ヶ森)

堀 伶奈(むつ市)

★お悔やみ申し上げます

吉田 政市(上田代) 82歳

伊勢田 さゑ子(白糠) 66歳

二本柳 貞一(小田野沢) 67歳

坂本 照光(老部) 82歳

橋本 精二(下田屋) 84歳

越善 利一(上田代) 79歳

川端 明子(大利) 48歳

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては
しくない方は届出の際に係に申し出てくださる
ことをお願い致します。

「ひがしどおりのさんぽみち」

「ひがしどおりのさんぽみち」では、村で見つけた、風景や花などを紹介していきます。

また、村民の生涯学習、芸術活動の発表の場として広く提供します。東通村を描いた絵画や東通村で撮った写真、東通村にまつわるものならジャンルを問いません。皆さんの作品もどしどしご応募ください。

お問合せ 東通村役場総務課 広報係

☎27-2111



佐藤和弥さん(砂子又)の

長男 倫^{りん} 聖^{せい}くん満
1
歳
で
す
!

東通村 ジオパーク 探訪

今回は、猿ヶ森砂丘ジオサイトの中の“砂丘”そのものについてご説明します。

猿ヶ森砂丘は、北は尻労地区から南は小田野沢地区まで、太平洋岸の南北約17km、東西約1～2kmの範囲に、海から運ばれた砂が堆積している日本屈指の砂丘です。

では、この猿ヶ森砂丘、いつ頃できたのでしょうか？

猿ヶ森砂丘は、地球の気候変動に伴う海面の上下などに併せて、およそ5つの時期に分かれて砂の堆積と移動を繰り返してきたと考えられています。東通村史によると、古くは約6,000年前の縄文時代の頃から。続いて約2,000年前の弥生時代の頃で、約1,000年前の平安時代の頃には砂の移動が特に激しかったと言われています。そして、500年前からの形成と、150年前から現在に至るまでの形成によって、現在の猿ヶ森砂丘になりました。

※文献等により形成年代には多少の違いがあります。



大部分が下北試験場の敷地になっているため普段は立ち入りができませんが、尻労や小田野沢の海岸線から手軽に一望することができます。

県道尻労裏部線を旧尻労小学校から海沿いに下り、尻労集落に入る上り坂の途中から、猿ヶ森砂丘を一望できます。天気が良ければ(写真左奥の位置に)遠く小田野沢漁港が見えます。